

昭和100年・戦後80年特集

～郷土のあゆみをたどる②～

節目年となる令和7(2025)年、県映像センターが所蔵している貴重フィルムやビデオテープをDVDにしました。地域の活動や家庭で「昭和～平成時代」の富山の雰囲気を感じてみませんか。

1 貴重映像の保存「GHQ提供16mmフィルム」シリーズ 第二弾！（続編）



GHQの占領政策の一環として上映された映像作品。当時使用されていたアメリカ製の映写機のメーカー名から「ナトコ」映画ともいう。この映像は太平洋戦争終戦直後の時代状況、当時占領していたGHQが日本に何を伝え、何を根付かせようとしていたのかを体感し、考える上で、貴重な歴史的な資料である。当時の日本人はいったいどのような思いで鑑賞していたのであろうか。

シリーズ第二弾では、第一弾でDVD化した18作品に加え、当時の「富山県視聴覚ライブラリー」が発行した『視聴覚資料目録』の内容をもとに、本センターで所蔵している当時の16mmフィルム現物やデジタルデータを確認し、新たに13作品をDVD化した。

また、昭和23年夏に実施された「ナトコ」映写技師講習会や「ナトコ」映写機、県内で巡回上映された際に使用された移動公民館車、GHQの要請によって整備された「ナトコ」フィルム・ライブラリー等の貴重な写真も一般公開する。